

パナホームの住まいの”簡単”お手入れ集

6～8月

夏

のお手入れ



じめじめした梅雨は、ダニが発生しやすいので、湿気対策を施し、発生を防ぎましょう。晴れた日は窓を開け、できるだけ部屋の空気を入れ換えましょう。

- ◆ダニが特に発生しやすいのは、気温や湿度が高くなる7～9月頃。ダニは室温20～30℃、湿度60～80%の環境を好みます。
- ◆畳・カーペット・布団・ベッドパッド・布製のソファ・ぬいぐるみなどは、チリや埃が溜まりやすく、エサが豊富で適度の湿度があるため、ダニは身を潜める隙間のあるところに卵を産みつけます。



## 換気を徹底しよう

家に住むダニは高温多湿を好みますが、湿度が60%以下になると活動が鈍くなります。温度が上がりすぎないようにし、湿気をコントロールしましょう。

- 換気を頻繁に行い、きれいな空気を取り入れることが大切。
- 湿度50%以下になると、人の喉や皮膚が乾燥してしまいます。50%以下の過乾燥にならないよう注意してください。
- 押入れは風通しが悪くなりやすいので、布団の下にすのこを敷いたり、ふすまを中央に寄せ、両端を開けて風通しを良くします。
- クローゼットや下駄箱など、普段締め切っている場所もこまめに扉を開け、中に滞留している空気を入れ換えます。除湿剤を配置することも効果的。



## カーペットや畳のダニ対策

畳の上にカーペットを敷くのは、湿気がこもり畳を悪くするばかりか、ダニ・カビの絶好の温床となりますので絶対にやめましょう。



週1～2回は通常より丁寧に掃除機をかけてください。  
1㎡あたり30秒ほどで、ゆっくり掃除機をかけます(6帖で約5分)。

## 寝具のダニ対策

畳やカーペットより、ベッドパッドなど寝具類の方がダニの死がいやフンが蓄積しやすいので、注意が必要です。



汗かきの方は、寝ている間に1ℓ以上もの水分が出るといわれています。朝起きたとき、ふとんをしばらくそのままにして、乾くのを待ってから押入れに入れるのも生活の知恵。

ふとんは天日干しすることで、1時間で60%以下、2日目には30%以下に湿度が低下します。できれば、ふとんは毎日でも干したいですね。

## 掃除機を利用しよう

畳やカーペットに限らず、様々なものの表面についたダニをとるのに掃除機は有効です。ただ、粉になったダニのフンが排気口から出て、室内にばらまかれてしまうという問題点もあります。

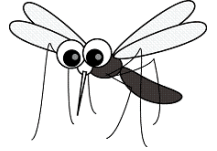
ダニのフンはアレルギーの原因となる場合があるので、掃除機はフィルター効果のあるものがよいでしょう。

7月

## 蚊の発生を防ごう

蚊は水中に卵を産み、幼虫(ボウフラ)は成虫になるまで水の中で暮らします。側溝や防火用水、さらには植木鉢、空き缶などのちょっとした水溜まりにも産卵しますので、家の周りにボウフラの生息する水場をなくすことが、発生を防ぐ第一歩。

雨水枡や水溜まりになりそうな場所は、木酢液を垂らしておくとう効果的です。木酢液の臭いが蚊を遠ざけます。



7月

## 雷対策をしておこう

カミナリは狭帯で短時間の気象ですから、予測も対策も完璧にはできません。気象情報をチェックし、雷対策をしましょう。



カミナリのエネルギーは莫大で、1億ボルトの電圧があるそうです。家の配線に異常電流が入ることを「雷サージ」といい、これによりテレビやパソコンが故障します。

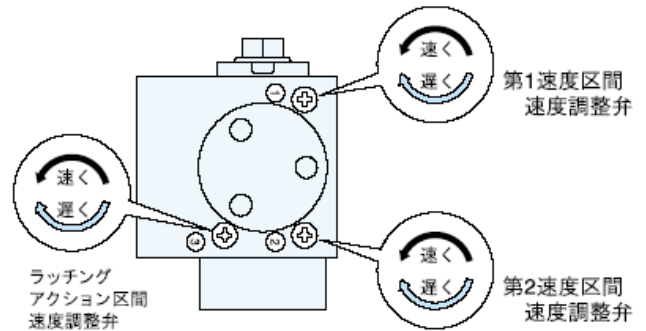
- ブレーカーを落としましょう。ブレーカーから先に雷サージが流れる可能性が低くなります。
- テレビやパソコンなど家電製品のコンセントのプラグを抜くと、雷が侵入してこなくなり、家電製品を守ることができます。
- パソコンはインターネットをするため、電源線と通信線につながっています。落雷で、電源線と通信線の間には大きな電圧が発生し、パソコン内部の弱い箇所(基板など)が故障することがあります。

- ・パソコンの電源をコンセントから外す。
- ・ケーブルモデムの電源をコンセントから外す。
- ・LANケーブルをケーブルモデムから外す。

ドアの上部には、油圧式の「ドアクローザ」という機器が付いています。この「ドアクローザ」の側面に付いている3個の速度調整ネジをドライバーで動かすだけで、玄関や勝手口のドアの開閉スピードが簡単に変わります。

◆ドアクローザ内部の油が、気温が上がる夏の季節は柔らかくなるため、ドアの開閉スピードは少し早くなります。

◆ネジ位置は、ドアの種類によって異なります。貼り付けてある表示ラベルでご確認ください。

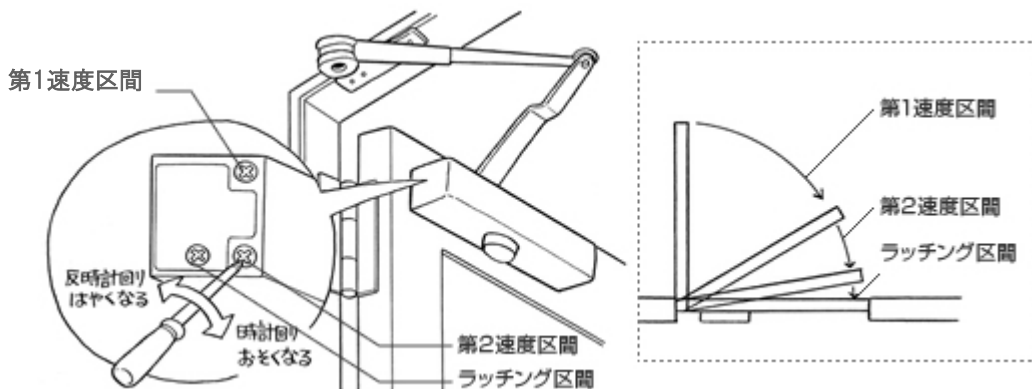


3個のネジはそれぞれ、  
 ・閉まり初めの速度「第1速度区間」  
 ・中間部の速度「第2速度区間」  
 ・閉まる直前の速度「ラッチング区間」  
 を調整するためのものです。

スピードを遅くしたい場合は右(時計まわり)に、速くしたい場合は左(反時計まわり)に回します。主に、第1・2速度区間での調整を行いましょう。(2個のネジで、第1・2速度区間だけ調整するドアクローザもあります)

### <ご注意！>

ネジは、まず1~2mm程度だけ動かし、ドアの開閉スピードを確認してから、さらに少しだけ動かす、という作業を繰り返しながら調整してください。一度にたくさんネジを回すと(一回転以上)、ドアクローザ内部の油が漏れることがあり、故障の原因となります。



台風は発生から襲来までかなりの時間があり、準備次第で被害が軽減できます。台風シーズンに備え、毎年の恒例にしておきたい作業です。

## 雨樋を点検し、排水をよくしよう

雨樋のゴミやほこり、枯葉などは取り除きましょう。樋に亀裂やカケがあれば、防水テープなどで早めに補修します。

高い場所での作業は危険ですから、専門業者に依頼しましょう。

## 排水溝や排水マスを掃除しよう

排水溝や排水マスのゴミを取り除き、たまっている泥をひしゃくなどですくい出します。



## 屋根まわりを点検しよう

屋根瓦がずれていると、強風で飛ばされたり、雨漏りなどの被害を招きます。屋根に登るのは危険なので、屋根まわりを目で確認し、ずれなどを発見したら、専門業者に修理を依頼しましょう。

テレビのアンテナも支線の緩みなどを確認しておきます。

## 庭木を補強しよう

電線近くの庭木は、強風にあおられたりするとショートの原因になり危険です。しっかり固定するか、思い切って枝を切り落としましょう。

細い木は折れないように添え木をあてて補強し、鉢植えや園芸用品など飛ばされやすいものは屋内へ。



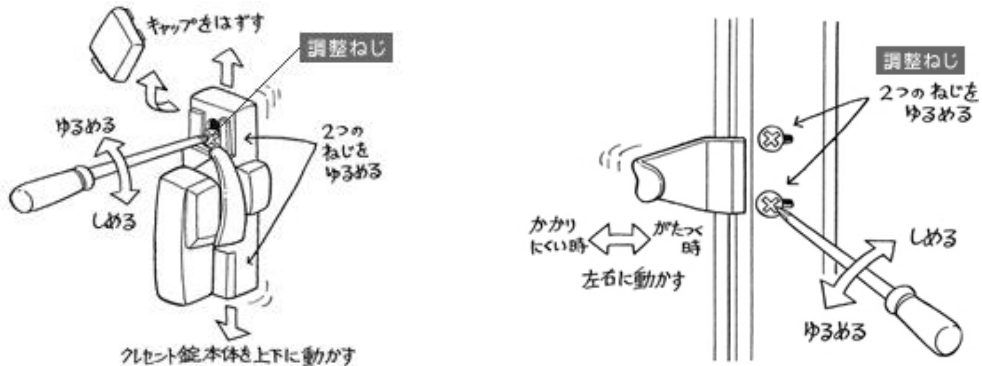
## バルコニーを整理しよう

強風で物干し竿や鉢植えが飛ばないように、鉢植えは屋内に入れ、物干し竿は丈夫なひもで固定しましょう。



## サッシの建て付けや錠を確認しよう

すべてのサッシを点検します。錠をかけてもサッシががたつく場合は、錠や受け金具がずれている場合があります。ドライバーで調整するか、専門業者に依頼して建て付けを修理しておきましょう。



## 窓を補強しておこう

台風が近づいたら雨戸を閉め、隙間をビニールテープでふさぎましょう。

雨戸がない場合は、窓ガラスにビニールテープを×字型に貼り、強度を持たせます。カーテンを閉めて窓枠に画びょうで固定しておくと、万一ガラスが割れた場合でも、破片の飛散を抑えます。



## 換気扇や換気口をふさいでおこう

強い風雨の場合には、小さな隙間からも雨水が浸入することがあります。換気扇や換気口、サッシ上部の換気窓などはしっかり閉めて、外側からビニールでふさぎ、ビニールテープで固定しましょう。



## 屋外コンセントは覆いをかぶせよう

雨水や飛来物で破損したり、漏電しては大変。屋外のコンセントはフタや覆いをしておきましょう。



## Memo

---

---

---

---

---

---

---

---



### 快適で安全な住まいを長持ちさせる4つのポイント

#### 1. 日頃からこまめな掃除を心がける

ちりも積もれば山となり、補修のコストも時間も膨らみます。こまめな掃除は家の点検にもなりますから、早いメンテナンス対応に役立ちます。

#### 2. 簡単なメンテナンスは家族みんなで

窓ガラスの拭き掃除や網戸・サッシの調整など、簡単に出来るメンテナンスはたくさんあります。休日に家族みんなで取り組めば、家に対する愛着も一層湧いてきます。

#### 3. 設備の修理を依頼する前に取扱説明書を確認する

コンロ・食洗機・温水洗浄便座・インターホン・エアコンなどの調子が悪い時は、取扱説明書を読みましょう。掃除方法やリセット方法などを確認することができます。また、使ってはいけない洗剤や間違った使い方に気づくチャンスです。

#### 4. 専門的なことは住宅メーカーにまかせる

屋根・外壁塗装など大掛かりなものや専門知識を要するメンテナンスは、住宅メーカーに依頼しましょう。危険や無駄な出費を防ぐことにもなります。

## PanaHome

掲載のお手入れ用品は、なるべくホームセンターやスーパーなどで手軽に購入できるものを紹介しています。

パナホーム兵庫がおくる21世紀のすまい



株式会社 **パナホーム兵庫**

デリバリーサービス事務局

〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町205-2  
TEL.079-224-8746(代) FAX.079-224-8726  
フリーダイヤル 0120-39-8746